

7月の果実の見通し

品目	区分	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年入荷量(t)	前年占有率(%)	
すいか類		15,471	102	14,753	173	95	154	3,088	20.0	千葉、山形、長野、新潟、鳥取産が出回る。千葉、鳥取は生育順調で7月上旬がピークで下旬終了見込み。長野は5月の低温により5日程度の生育遅れ。新潟は他品目からの転作もあり作付面積は増加傾向。全体の入荷量は前年並み、価格は前年よりやや下回る見込み。
もも		7,400	120	6,759	421	91	445	2	0.0	山梨産中心の入荷で、全体の約9割を占める。山梨は春先の低温により生育は前年より2~4日程度遅れている。主力品種の白鳳は中旬から入荷の見込み。結実は概ね良好だが、小玉傾向となっている。全体の入荷量は前年より大幅に上回り、価格は前年よりかなり下回る見込み。
メロン類		5,375	100	5,146	331	97	345	1,174	21.8	茨城、千葉、山形産が中心となり全体の8割を占める。品種はアールスメロン、貴味、アンデス、クインシーなど。茨城、千葉は生育期の好天により作柄は良好で量的にも安定している。全体の入荷量は前年並み、価格は前年よりやや下回る見込み。
おうとう		1,134	102	627	1,014	105	1,352	989	87.2	山形産が全体の約9割を占める。山形は生育遅れのため佐藤錦は7月10日、紅秀峰も若干後ろにずれ込み20日頃まで入荷の見込み。秋田は4~5日の生育遅れと豪雪による枝折れの影響で前年比2割減の見込み。入荷量は前年並み、価格は前年をやや上回る見込み。
すもも		1,023	100	1,190	471	99	444	203	19.8	山梨、山形産が全体の8割を占める。山梨は2日程度の生育遅れだが作柄は概ね順調、大石早生は7月上旬がピーク。山梨県オリジナル品種のサマーエンジェルは7月中旬からの入荷で前年を大きく上回る見込み。全体の入荷量は前年並み、価格は前年並みの見込み。
ぶどう (デラウェア)		779	98	1,049	831	100	713	396	50.8	山形、山梨産中心の入荷となる。山梨は栽培面積が前年より約1割減少しているが、作柄良好で前年並みの入荷見込み。1週間程度の生育遅れだが、7月20日頃ハウスから露地ものへ切り替わる。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや下回る見込み。